

## ビームピストル よくあるご質問

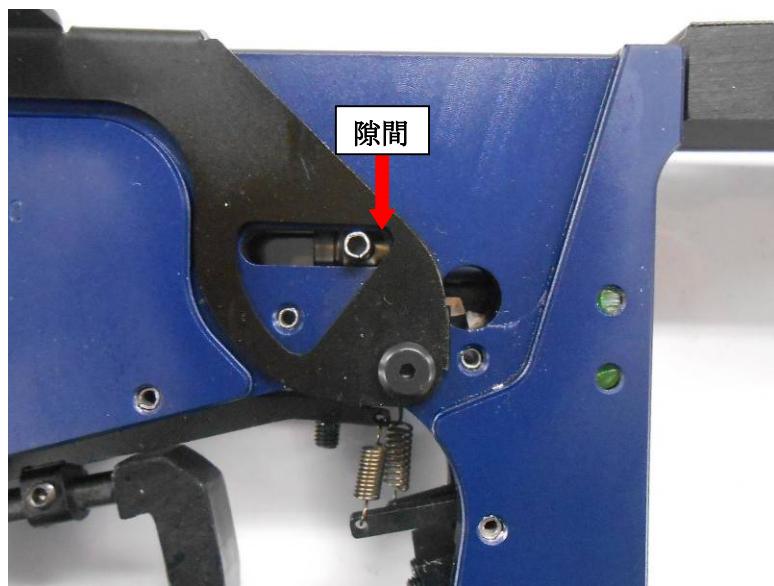
- レバーを上げてもハンマーが掛からない（コッキングできない）

通常はレバーを上げるとハンマー（撃鉄）が移動しますが、元の位置まで戻ってしまう場合は、グリップネジを回して赤丸の調節部が見える所までグリップを下げ、赤丸のネジを左回りに少し回してください。この調節部は、ハンマーの落ち具合を調節する部位であり、左回りに回すほどハンマーが落ちにくくなります。



- トリガーを引いてもハンマーが落ちない。

トリガーを引いてもハンマーが落ちない場合はハンマーの隙間に浸透潤滑剤（例：KURE5-56）をかけ、何度かレバーを上げなおして下さい。



- ・トリガーを引いても着弾しない

この場合は、複数の原因が挙げられます。

1. 電池切れ<sup>※</sup>による光線の発光量不足

銃口の下の穴からは弾着反応用の光線が出力されます。トリガーを引き、音を鳴らした時に一瞬光ります。肉眼では確認できないため、スマートフォンなどのカメラ機能を使用して確認してください。電池の残量低下に伴い、発光量も低下します。写真1のAが通常の発光量で少し眩しく光り、Bが不足状態で暗く光ります。電池を交換しても発光量が不足している場合は不具合ですので、お手数ですが製品を興東電子(株)までお送りください。

※電池切れの兆候は複数あり、電源LEDは点灯するが、射撃後消灯する。射撃後1stステージでの点滅よりも高速で点滅するなどがあります。通常と異なる動きがありましたら、電池を交換し、挙動を確認してください。



A

B

写真1：光線の発光量

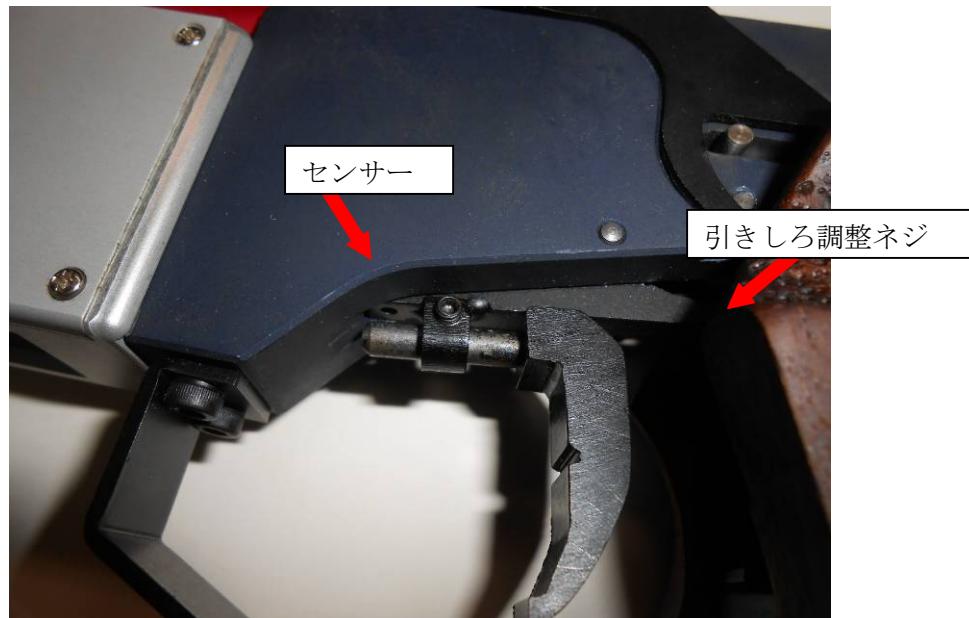
2. 1stステージ時LEDが点滅していない。

ビームピストルでは下記の内部に引金用センサーを搭載しており、引金とセンサーが接触した状態を感知していて、通常起動<sup>※1</sup>（LEDが点灯）します。1stステージで点滅し、トリガーを引くことにより、ハンマーが落ち、発射用センサーが反応し、光線が出力されます。

1stステージで点滅しない場合、引金と引金用センサーが十分に離れていないので、トリガー後方の上向きネジ<sup>※2</sup>を左回しに回して1stステージでLEDが点滅するようにして調整してください。

※1 トリガーを引いたまま電源を入れると異常起動（LED 高速点滅）しますので、トリガーリターンして再度電源を入れなおして下さい。

※2 このネジは 1st ステージの引きしろを調整するネジです。左に回すと長くなります。

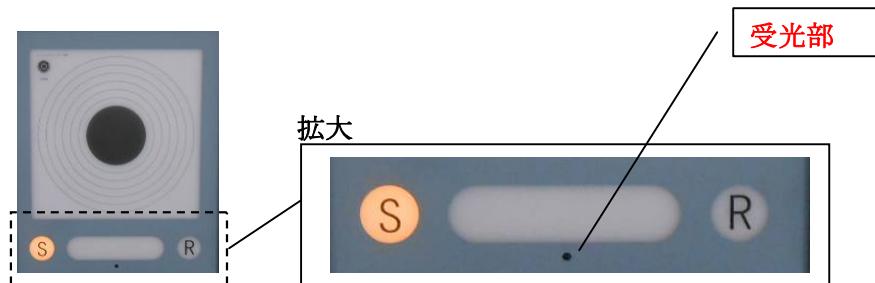


### 3. BPT 赤外線受光部の汚れ

標的の受光部が埃や塵などで汚れて感度が鈍っている可能性があります。  
受光部の汚れを除去してください。

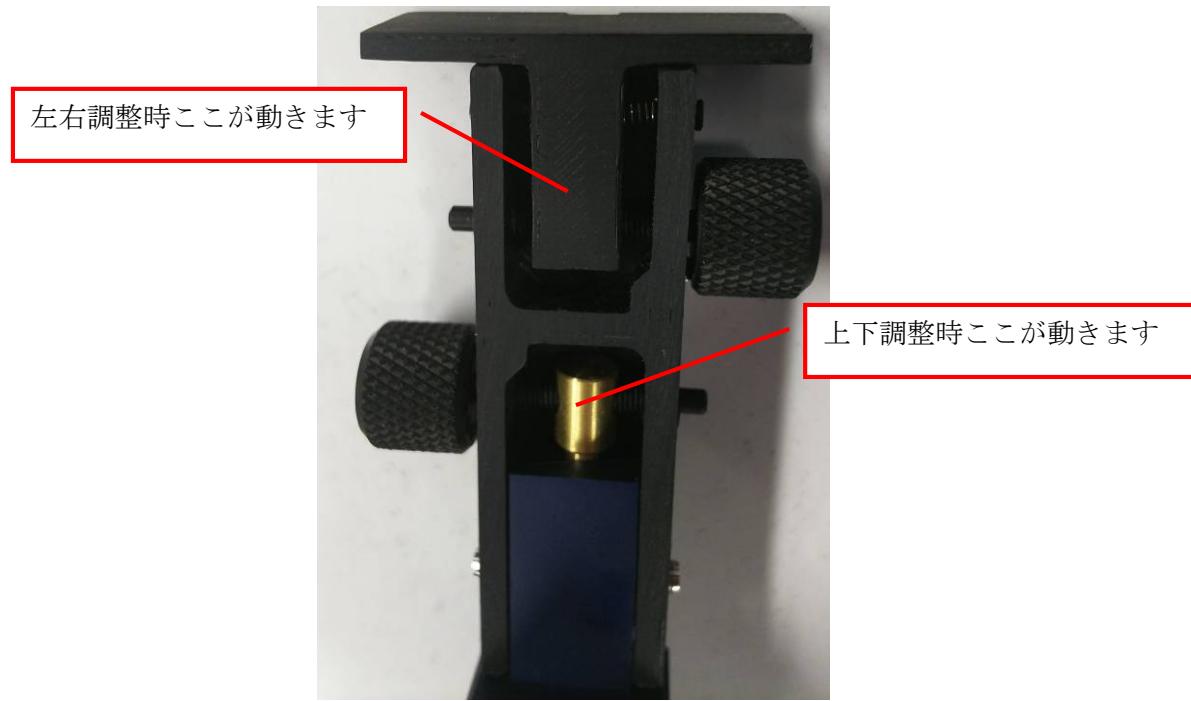
その際は消毒用アルコール（エタノール）を湿らせた細い綿棒などで拭き取って下さい。

BPT は使用時以外は購入時の段ボールに入れ、屋内に保管してください。



- 照門調節ネジのクリック感消失

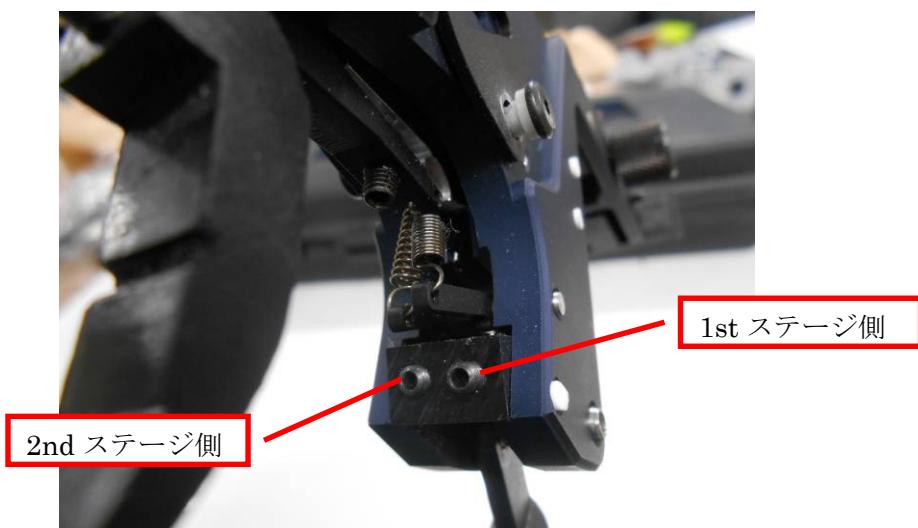
照門ネジは左右・上下それぞれ可動範囲に限界があります。調整の際は可動範囲を確認し、無理に力を入れて回さないでください。部品が破損、脱落し、ネジのクリック感が消失します。



写真：下から見た照門

- トリガーの重さの調整について

トリガー後方のばねのかかっている金具下のネジで重さを調整できます。1st、2nd とも右回りで重くなります。両ステージとも軽くしてしまうと規定の重さ 500 グラムを下回つてしましますので、調整後は重りをつけて確認してください。



・無償修理、有償修理について

本製品は出荷後 1 年間以内の通常故障のみ無償で修理させていただきます。ただし、2016 年、2017 年製造のもので、公認証未貼付のものは公認証配布日から 1 年間以内を無償修理期間とさせていただきます。